

事務事業名 湛水防除施設維持管理事業

政策:03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

施策:01 農林水産業の振興

基本事業:06 農業基盤整備の推進

部名:経済環境部

課名:農林水産課

計画年度	年度	～	年度	事業区分	継続	会計区分	普通会計	
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
各湛水防除施設管理委員会				平成21年度負担金実績 ●みどりみ排水機場管理委員会 2,100千円 ●田越湛水防除施設管理委員会 1,000千円 ●中台湛水防除管理委員会 1,300千円 ●武射田湛水防除施設管理委員会 500千円 ●蓮沼湛水防除施設管理委員会 8,995千円				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
施設が適正に管理されます。								
4 活動指標・成果指標・事業費の推移								
区分	指標名称			単位	20年度実績	21年度実績	22年度当初	25年度目標値
活動指標	負担金支出額			千円	13,595	13,895	13,595	12,310
活動指標								
成果指標	維持管理上の不具合件数			件数	0	0	0	0
成果指標								
事業費				千円	13,595	13,894	13,895	
				うち一般財源	千円	13,595	13,894	13,895
5 目的妥当性								
○ 法定受託事業である（根拠法令→） ● 妥当である ○ 妥当性が低い				農地の湛水被害の防止だけでなく、大雨による受益地の浸水被害を防止しているため、防災施設としての役割を補っている。公共性の高い事業として認識している。				
6 上位の基本事業への貢献度								
● 貢献度大きい（理由→） ○ 貢献度ふつう（理由→） ○ 貢献度小さい（理由→） ○ 基礎的事務事業				農地被害が減少するため、上位基本事業への貢献は大きいものと考ええる。				
7 対象や意図の妥当性、費用対効果の検討								
○ 対象や意図を見直し、費用対効果を上げることができる ● 対象や意図の見直しはできない ○ その他				地域施設が限定されているため、対象意図の見直しはできない。				
8 有効性（成果状況）								
○ あがっている ● どちらかといえばあがっている ○ あがっていない				地元管理者の活動は順調である。				
9 有効性（成果向上余地）								
○ 成果向上余地・大 ● 成果向上余地・中 ○ 成果向上余地・小・無し								
10 事業の再編成								
○ 類似の事業があり、再編成できる ○ 類似の事業はあるが、再編成できない ● 類似の事業はない				対象エリアがそれぞれの管理組合で異なるため再編成は困難				
11 効率性（コスト削減の方法）								
● ある ○ ない				負担金の大部分が電気代であるため、コストの削減は困難である。				